

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html>)

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html>)

マイライブラリー:0351

(注)本稿は2015年8月3日から9日まで4回に分けて「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2015.8.9

前田 高行

上流(生産)と下流(精製)の利益が逆転:五大国際石油企業2015年4-6月期決算速報

目次	頁
1. 五社の4-6月期業績比較	
(1) 売上高	2
(2) 利益	3
(3) 売上高利益率	4
(4) 原油・ガス生産量	4
(5) 設備投資	5
2. 五社の前年同期との業績比較	
(1) ExxonMobil	5
(2) Shell	5
(3) BP	5
(4) Total	6
(5) Chevron	6

スーパーメジャーと呼ばれる五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)の4-6月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益、売上高利益率、石油・天然ガス合計生産量及び設備投資の五項目について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の前年同期との増減を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。

ExxonMobil:

<http://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-42-billion-second-quarter-2015>

Shell:

<http://www.shell.com/global/aboutshell/media/news-and-media-releases/2015/second-quarter->

[2015-results-announcement.html](http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/second-quarter-2015-results.html)

BP:

<http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/second-quarter-2015-results.html>

Total:

<http://www.total.com/en/media/news/press-releases/second-quarter-and-first-half-2015-results>

Chevron:

http://www.chevron.com/chevron/pressreleases/article/07312015_chevronreportssecondquarternetincomeof571million.news

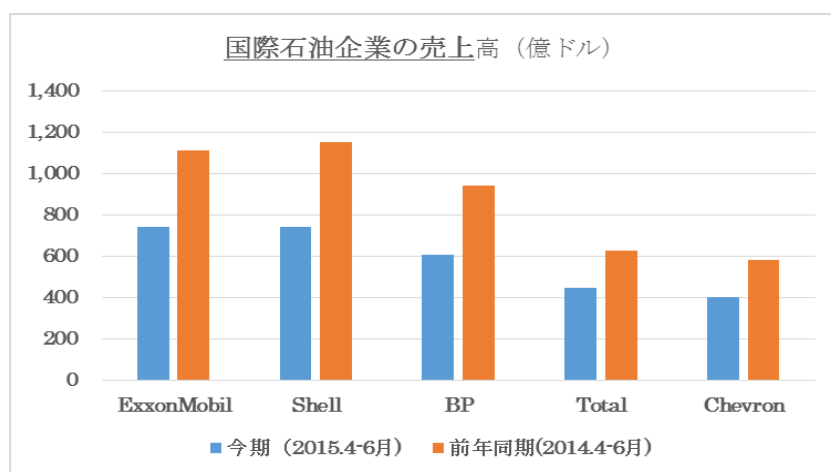
なお2008年から2014年までの通年の業績比較はレポート「五大国際石油企業2014年度業績速報シリーズ」を参照されたい。

<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0337OilMajors2014.pdf>

1. 五社の4-6月期業績比較（末尾表：1-D-4-22 参照）

五社を横並びで比較すると売上高、利益、生産量の3部門で ExxonMobil がトップである。また売上高利益率では Total が、また設備投資は Chevron がトップである。ExxonMobil は売上高利益率および設備投資額ではNo. 2であり安定した決算は横綱の貫禄がある。これに対して BP は売上高こそ Shell、ExxonMobil に次いで3番目に多いものの、他の4社が利益を計上している中で同社だけが大幅な欠損を出している。また生産量および設備投資額が五社の中では最も少ないなど他の四社に比較してかなり見劣りのする決算業績となっている。

(1) 売上高



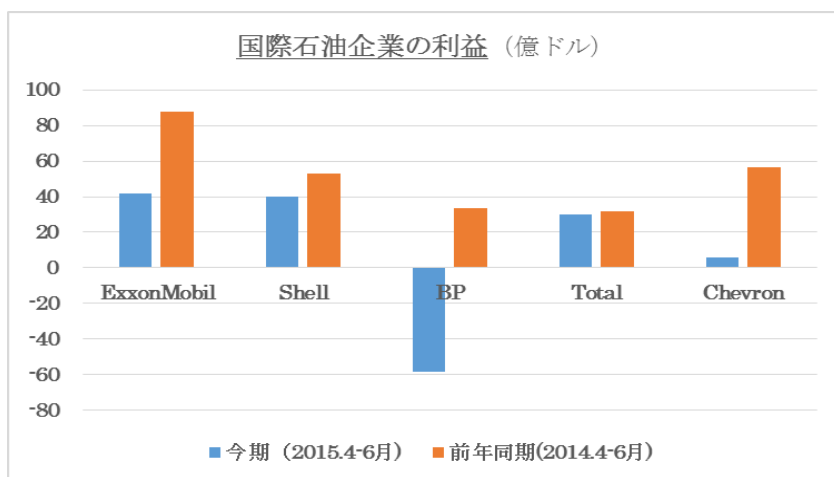
2015年4-6月の売上高は5社ともに前年同期に比べ30%前後の大幅な減少であった。これは言うまでもなく原油価格が暴落したためである。因みに北海 Brent 原油で見ると、昨年第二四半期はバレル当たり110ドル台であったものが、今年の同時期は65ドル前後と30%以上下落している。原油価格

格の下落がそのまま各社の売上高減少に反映されたと言えよう。

この結果、ExxonMobil の売上高は741億ドル(前期比-33%)、Shell740億ドル(同-36%)、BP 606億ドル(同-36%)、Total 447億ドル(同-29%)、Chevron 404億ドル(同-30%)であった。

(2)利益 (図:<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-26.pdf> 参照)

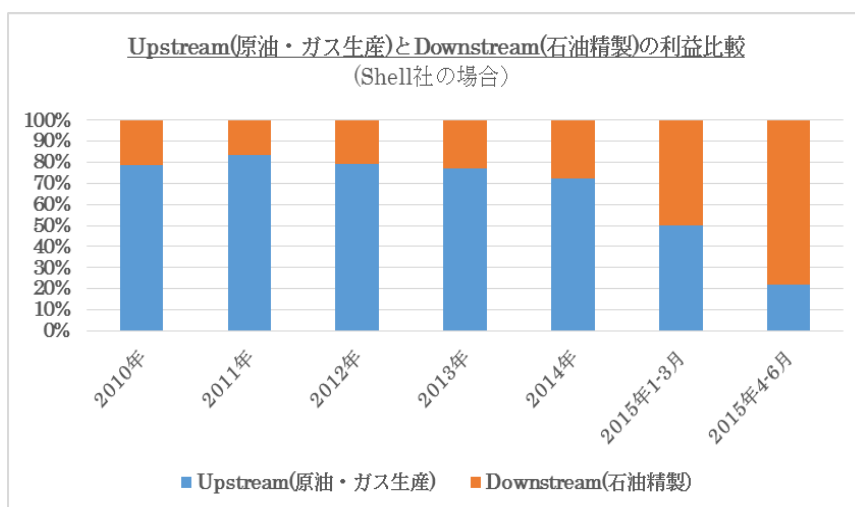
ExxonMobil の期間利益は42億ドル、前年同期の2分の1であった。また Shell も前年同期の25%減、40億ドルであり、Total は前年同期とほぼ同じ30億ドルの利益を計上している。これに対して Chevron は前年同期の57億ドルに対してほぼ10分の1の6億ドルにとどまっている。そして BP は2010年のメキシコ湾原油流出事故に対して米国政府およびメキシコ湾岸5州に合計187億ドルの賠償金を支払うことで和解したことを受け、今期はマイナス58億ドルの大幅な損失を計上している。



前年同期の5社の利益はExxonMobilが利益額で88億ドルとトップであり、50億ドル台の Shell、Chevron、30億ドル台の BP、Total を大きく引き離していたが、今期はExxonMobilとShellが40億ドル前後で並び、Total がこれに続き、Chevron は一桁の6億ドル、BPは大幅な

損失を出している。

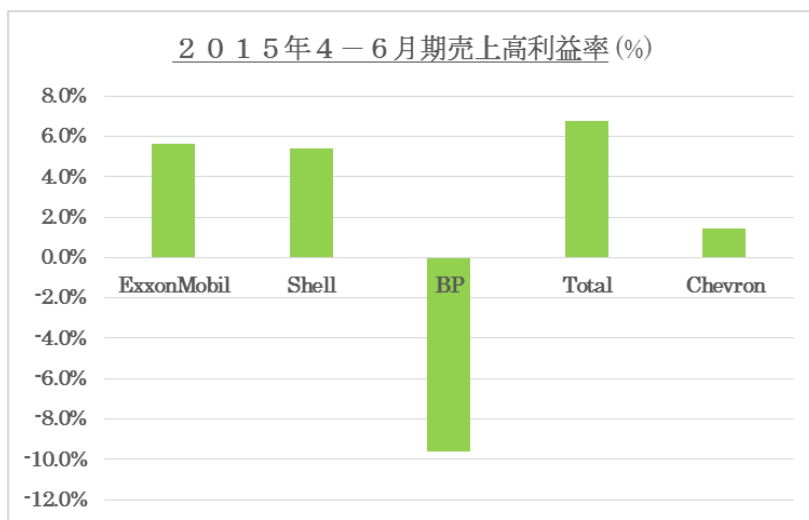
国際石油企業の利益構造は(BP の原油事故という特殊要因を除けば)これまでいずれも利益の大半を原油・天然ガスの生産(上流部門)で稼ぎ、精製、石油化学など(下流部門)の低収益を補うという構図であったが、昨年後半以降に原油価格が大幅に下落したため収益構造が様変わりしている。即ち上流部門の利益が急減する一方、精製、石油化学部門は原料の原油・天然ガス価格が急落したため利益の出る体質に変化したのである。



たとえば Shell の原油・ガス生産部門と石油精製部門の利益比率を見ると、2013年までは上流部門の利益が8割を占め、下流部門の利益は2割に過ぎなかった。しかし昨年はこの比率が7割対3割に変わり、今年に入ってから1-3月期が50%対50%と上流部門と下流部門の

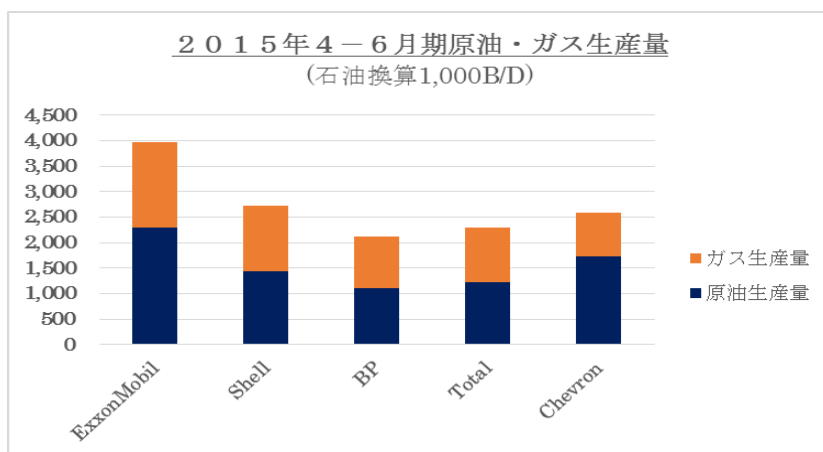
利益が同じ水準になっている。さらに今期(4-6月期)は上流部門と下流部門の比率は22%対78%と完全に逆転しているのである。

(3) 売上高利益率



売上高利益率は Total が 6.7%と最も高く、これに ExxonMobil、Shell が各々5.7%、5.4%で続いている。Chevron は1.4%にとどまっております、BP はマイナス9.6%である。

(4) 原油・ガス生産量



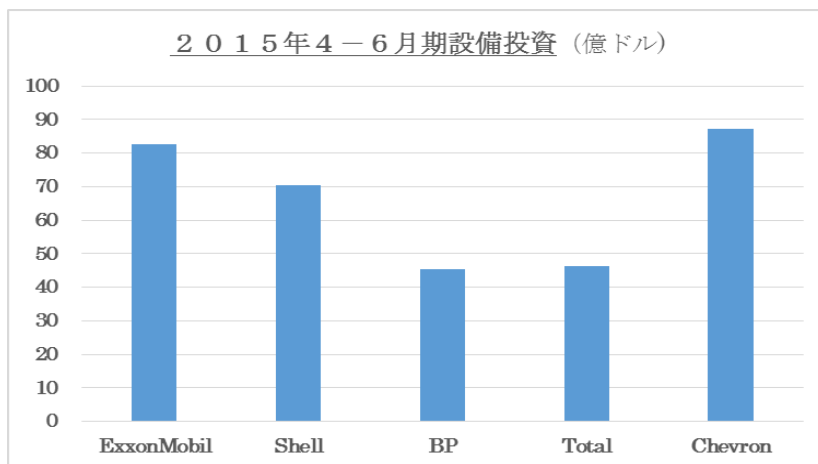
今年4-6月の原油生産量はExxonMobilが平均日産量229万バレル(以下 B/D)で5社の中では最も多い。その他の4社は Chevron 172万 B/D、Shell 143万 B/D、Total 122万 B/D、BP 111万 B/D で、BP および Total は ExxonMobil の半分前後にとどまっている。ExxonMobil

は世界各地で万遍なく原油生産をおこなっており他者を圧倒している。米国内を地盤とする Chevron はシェールオイルの増産で Shell、Total、BP をしのぐ生産量を上げている。

天然ガスの生産量も ExxonMobil が最も多く日産101億立方フィート(以下 cfd)であり、これに次ぐのが Shell の75億cfdである。残る3社は上位2社よりかなり少なく、Total59億cfd、BP58億cfd、Chevron52億cfdであり、Chevron は ExxonMobil の2分の1である。

天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量(B/D)では ExxonMobil は398万 B/D で他の4社はいずれも200万 B/D 台にとどまっている。4社の生産量はそれぞれ Shell273万 B/D、Chevron260万 B/D、Total230万 B/D、BP211万 B/D であった。

(5) 設備投資



2015年4-6月期の各社の設備投資額は Chevron が最も多い87億ドルであり、ExxonMobil が83億ドルでこれに続いている。第3位のShellの投資額は71億ドルである。またTotalは46億ドル、BPは最も少ない45億ドルにとどまっている。

2. 五社の前年同期との業績比較 (末尾表 1-D-4-22 参照)

(1) ExxonMobil

ExxonMobilの2015年4-6月期の売上高は741億ドルであり、前年同期の1,112億ドルに比べ33%の減収であった。利益も同様に大幅に落ち込み前年同期を52%下回る42億ドルにとどまった。利益の落ち込み幅が売上よりも大きかったため、同社の売上高利益率は5.3%となり前年同期の7.9%を下回った。

原油の生産量は前年同期を12%上回る229万 B/D であったが、天然ガスは前年同期を5.8%下回る日産101億立方フィート(以下 cfd)であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で398万 B/D となり、前年同期の384万 B/D を3.6%上回っている。また4-6月期の設備投資は83億ドルであり、前年同期の98億ドルに比べ16%減少している。

(2) Shell

Shellの2015年4-6月期の売上高は740億ドルであり、前年同期の1,153億ドルに比べ36%の減収であった。利益の落ち込みは売り上げの落ち込み幅を下回る25%減の40億ドルである。この結果同社の売上高利益率は前年同期(4.6%)を上回り5.4%であった。

原油の生産量は前年同期を4.5%下回る143万 B/D であったが、天然ガスは前年同期を18%下回る75億 cfdであった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で273万 B/D となり、前年同期の308万 B/D を11%下回っている。また4-6月期の設備投資は71億ドルであり、前年同期の85億ドルに比べ18%減少している。

(3) BP

BPの2015年4-6月期の売上高は606億ドルであり、前年同期の940億ドルに比べ36%の大幅な減収であった。利益の落ち込みはさらに激しく前期34億ドルの利益に対し、今期は58ドルの損失を計上している。このため同社の売上高利益率はマイナス9.6%となり前年同期(3.6%)から大きく下落している。

原油の生産量は前年同期を2.6%上回る111万 B/D であったが、天然ガスは2.2%減の58億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で211万 B/D となり、前年同期とほぼ

同じである。また4-6月期の設備投資は45億ドルであり、前年同期の55億ドルに比べ18%減少している。

(4) Total

Total の2015年4-6月期の売上高は447億ドルであり、前年同期の626億ドルに比べ29%の減収であった。利益の落ち込み幅はマイナス4.4%にとどまり30億ドルの利益を確保している。この結果売上高利益率は6.7%となった。

原油の生産量は前年同期を24%上回る122万 B/D であったが、天然ガスは前年同期横ばいの59億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で230万 B/D となり、前年同期の206万 B/D を12%上回っている。また4-6月期の設備投資は46億ドルであり、前年同期の80億ドルに比べ大幅に減っている。

(5) Chevron

Chevron の2015年4-6月期の売上高は404億ドルであり、前年同期の579億ドルに比べ30%の減収であった。利益は売り上げ以上に落ち込み前年同期の10分の1の6億ドルにとどまった。この結果、同社の売上高利益率は1.4%となり前年同期(9.8%)を大幅に下回った。

原油の生産量は前年同期を2%上回る172万 B/D であった。天然ガスも同様に前年同引き2.7%増加し52億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で260万 B/D となり、前年同期の255万 B/D を若干上回っている。また4-6月期の設備投資は87億ドルであり、前年同期の102億ドルに比べ14%減少している。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

2015年4-6月期国際石油企業の業績

		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2015年4-6月	74,113	73,950	60,646	44,715	40,357
	前年同期	111,208	115,274	93,957	62,561	57,938
	増減(%)	-33.4%	-35.8%	-35.5%	-28.5%	-30.3%
利益(百万ドル)	2015年4-6月	4,190	3,986	-5,823	3,013	571
	前年同期	8,780	5,307	3,369	3,151	5,665
	増減(%)	-52.3%	-24.9%	-272.8%	-4.4%	-89.9%
売上高利益率(%)	2015年4-6月	5.7%	5.4%	-9.6%	6.7%	1.4%
	前年同期	7.9%	4.6%	3.6%	5.0%	9.8%
原油・ガス生産量 (石油換算 1,000B/D)	2015年4-6月	3,979	2,731	2,112	2,299	2,596
	前年同期	3,840	3,077	2,106	2,054	2,545
	増減(%)	3.6%	-11.2%	0.3%	11.9%	2.0%
設備投資(百万ドル)	2015年4-6月	8,261	7,050	4,529	4,616	8,724
	前年同期	9,800	8,541	5,499	7,966	10,185
	増減(%)	-15.7%	-17.5%	-17.6%	-42.1%	-14.3%